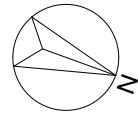


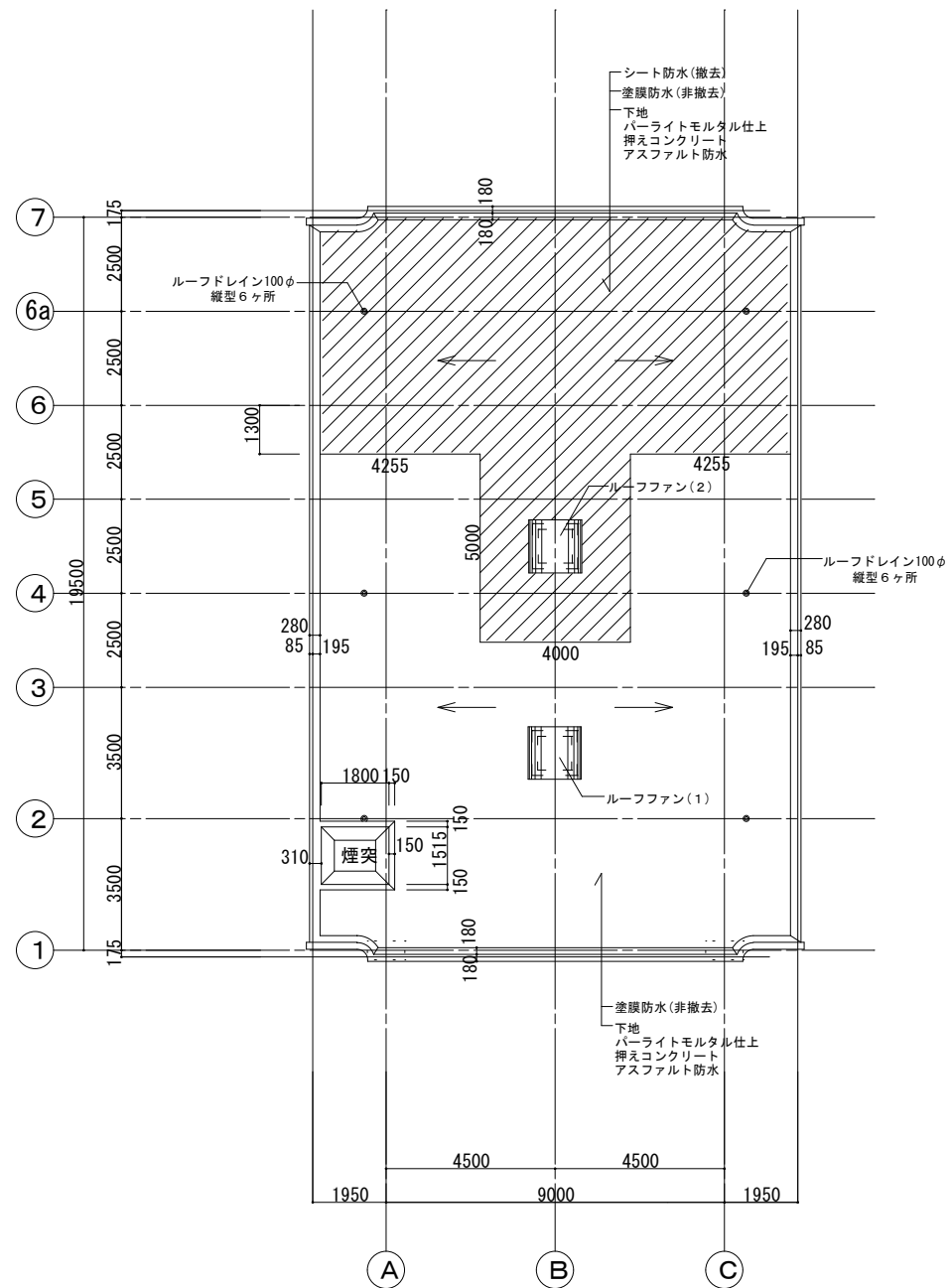
Ⅰ. 工 事 概 要 等		7 建設発生土		※ 現場説明書の施工条件明示による。 ・ 構内指示場所に堆積 ・ 構内指示場所に敷き均し		12 調査のための破壊部分の補修 補修方法 ※図示 補修範囲 ※図示 【1. 6. 3】		補修方法 ※図示 補修範囲 ※図示		18 電子納品			
1. 工事名称 : 尾関山ポンプ場 屋上防水改修工事 2. 工事場所 : 三次市三次町2256 (尾関山ポンプ場) 3. 敷地面積 : 4. 構造規模 : RC造 地上2階地下2階建 床面積430.0.8.7㎡ (改修対象面積178.6.9㎡) 5. 工事種目 : 防水改修工事 6. 別途工事 : (あり ・ なし) 7. 調査協力について 本工事は工事中及び完成後、次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 (1) 公共事業労務費調査…工事中に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等) (2) 契約不適合調査…建設工事紛争調停約款第46条の5に定める期間内 (3) 公共建築物木材利用事例調査票…工事中に実施 (調査票の記入提出、発注者の調査実施への協力等) 8. 公衆災害防止措置 公衆災害防止措置 (1) 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 (2) 上記について、「建設工事公衆災害防止対策要綱 (平成5年1月12日付 建設事務次官通達)」に基づき実施すること。 (3) 掘削作業前には、必ず既存の設け図面や施設の改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者に立会を依頼すること。 9. 現状復旧 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任において現状復旧を行うこと。 10. 主要資材等 (1) 主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 (2) 当該工事に使用する砂については、海砂 (県外産を含む) を使用しないこと。 (3) この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部 (主体部分を除く) を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。		8 環境への配慮 【1. 4. 1】		化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、繊維材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む) 含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が追加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用しで作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号) に基づき制定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。		13 技能士 【1. 7. 2】		外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り タイル張り作業 建築改修工事 サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工 建築フィルム作業 塗装改修工事 塗装 建築塗装作業 内装改修工事 タイル張り 建築大工 建築板金 鋼製下地工事作業 内外装板金作業 左官 内装仕上施工 左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上工事作業 表紙 壁紙作業 耐震改修工事 とび 鉄筋施工 型枠工事作業 コンクリート圧送施工 鉄工 構造鉄工作業 環境配慮改修工事 配管 建築配管作業 溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー工事作業 造園工事作業		測定対象室及び測定箇所数は図示による。 (1) ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。測定箇所は仕上表により、施工方法は施工条件明示による。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉 (送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む) を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。 ただし、送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること。 (2) 木材の防霉・防蟻処理等は、クロロビド・トルエン、ダイアノジン及びフェノプロカルブを含むしない薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する。 (3) 保溫材、断熱材、繊維材については、ホルムアルデヒドを放散しないか発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを放散しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (5) 屋内に面して用いる材料は、上記(2)～(4)に適合した上で、揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、(1)の規定を満たすこと。 ※行う (回数及び時期については監督職員の指示による)		2 仮設工事	
Ⅱ. 建築改修工事仕様		9 材料の品質等 【1. 4. 2】		材料・機材等の品質及び性能 (1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料 (外部機関が発行する証明書の写し) を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料 床型用鋼製デッキプレート 防水剤 現場発泡断熱材 乾式保溫材 フリースアクセスフロア 既設合モルタル 可動間仕切り 既設目地材 移動間仕切り ルーフトレン トレイレス 吸水調整材 天井点検口 錠前類 床点検口 クローザ類 グリーチング 自動扉機構 屋上緑化システム 自閉式上吊り引根機構 トブライト 重量シャッター ポリマーセメントモルタル 軽量シャッター 鉄錠錠ふた オーバーヘッドドア 防水剤 現場発泡断熱材 フリースアクセスフロア 可動間仕切り 移動間仕切り トレイレス 天井点検口 床点検口 グリーチング 屋上緑化システム トブライト ポリマーセメントモルタル 軽量シャッター 鉄錠錠ふた		14 化学物質の濃度測定 【1. 7. 9】		測定対象室及び測定箇所数は図示による。 (1) ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。測定箇所は仕上表により、施工方法は施工条件明示による。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉 (送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む) を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。 ただし、送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること。 (2) 木材の防霉・防蟻処理等は、クロロビド・トルエン、ダイアノジン及びフェノプロカルブを含むしない薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する。 (3) 保溫材、断熱材、繊維材については、ホルムアルデヒドを放散しないか発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを放散しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (5) 屋内に面して用いる材料は、上記(2)～(4)に適合した上で、揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、(1)の規定を満たすこと。 ※行う (回数及び時期については監督職員の指示による)		2 仮設工事			
1 一般共通事項		10 石綿含有建材の調査 【1. 5. 1】		調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料 () ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリライト、アモサイト、アノソフィライト、クリノタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 材料名 分析方法 (定性) 分析方法 (定量) JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 箇所		15 中間検査		養生方法等 【2. 3. 1】 養生方法等 ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付を行う) ・ 固定された家具等 (備品、机、ロッカー等) の移動 ※ 行う (図示) ・ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (

防水改修工事	降雨等に対する養生方法		※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。 ・	[3.1.3]																																																																																									
	②	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) [3.1.4] [3.2.3、4、6] ・ 行わない 既存防水層の撤去 ○ 行う (範囲 ※ 図示 ・) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X)																																																																																										
	3	既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] POS工法及びPOS1工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (g) (q) ①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、屋根出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する																																																																																										
	4	アスファルト防水	屋根保護防水防水層の種類 [3.3.2～5]																																																																																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ P2A</td><td>・ A-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m2程度</td><td rowspan="3">・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250</td></tr> <tr> <td>※ A-2</td></tr> <tr> <td></td><td>・ A-3</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ P1B</td><td>・ B-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr> <tr> <td>※ B-2</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ P2AI</td><td>・ AI-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">(材質) JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキャン層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50</td><td rowspan="3">※フラットヤーンクロス70g/m2程度</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> <td>※ AI-2</td></tr> <tr> <td></td><td>・ AI-3</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ P1BI</td><td>・ BI-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr> <tr> <td>※ BI-2</td></tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床 15mm張り ※ 水下 60mm以上</p> <p>乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したものである。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものである。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">分類・規格</th><th>・ 窯業系パネル I 類</th><th>・ 金属複合板</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>幅 (mm)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>寸法の許容差</td><td>厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td><td>出荷時において10%以下</td><td></td><td>—</td></tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)</td><td>標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (300)</td><td></td><td>300以上 250以上 (300)</td></tr> <tr> <td>(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) (kgf数)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>吸水率 (%)</td><td>20以下</td><td></td><td>1以下</td></tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率 (%)</td><td>0.07以下</td><td></td><td>0.01以下</td></tr> <tr> <td>難燃性</td><td>不燃</td><td></td><td>表面材は不燃</td></tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td><td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td><td>質量500g (窯業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>剛性 (E×I)</td><td>—</td><td></td><td>80,000N・cm2以上</td></tr> </tbody> </table> <p>(試験方法) (1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・ P2A	・ A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250	※ A-2		・ A-3	・ P1B	・ B-1					※ B-2	・ P2AI	・ AI-1		(材質) JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキャン層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラットヤーンクロス70g/m2程度		※ AI-2		・ AI-3	・ P1BI	・ BI-1					※ BI-2	分類・規格		・ 窯業系パネル I 類	・ 金属複合板	寸法 (mm)	厚さ (mm)				幅 (mm)			寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	出荷時において10%以下		—	曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (300)		300以上 250以上 (300)	(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) (kgf数)				吸水率 (%)	20以下		1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下		0.01以下	難燃性	不燃		表面材は不燃	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。			耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。			剛性 (E×I)	—		80,000N・cm2以上
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																								
・ P2A	・ A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート 押え ・ れんが押え ※JIS R 1250																																																																																								
	※ A-2																																																																																												
	・ A-3																																																																																												
・ P1B	・ B-1																																																																																												
	※ B-2																																																																																												
・ P2AI	・ AI-1		(材質) JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキャン層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50	※フラットヤーンクロス70g/m2程度																																																																																									
	※ AI-2																																																																																												
	・ AI-3																																																																																												
・ P1BI	・ BI-1																																																																																												
	※ BI-2																																																																																												
分類・規格		・ 窯業系パネル I 類	・ 金属複合板																																																																																										
寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																												
	幅 (mm)																																																																																												
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																																																												
出荷時の含水率	出荷時において10%以下		—																																																																																										
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (300)		300以上 250以上 (300)																																																																																										
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) (kgf数)																																																																																													
吸水率 (%)	20以下		1以下																																																																																										
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下		0.01以下																																																																																										
難燃性	不燃		表面材は不燃																																																																																										
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。																																																																																												
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。																																																																																												
剛性 (E×I)	—		80,000N・cm2以上																																																																																										
5	改質アスファルトシート防水		<p>(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ (L2) を測る。</p> <p>吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。</p> $(\Delta L) = (L2 - L1) / L1 \times 100$ <p>ΔL：吸水による長さ変化率 (%) L1：乾燥時の標線間の長さ (mm) L2：吸水時の標線間の長さ (mm)</p> <p>(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)</p> <p>凍結融解操作の試験条件は、試験片の切欠小断面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中にて約2時間の凍結20±3℃の水中にて約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。</p> <p>(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。</p> <p>試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の荷重上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、表面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大たわみ深さを測定する。</p>																																																																																										
		屋根露出防水 防水層の種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反射率防水</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr> <th>種類</th><th>使用量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ M4C</td><td rowspan="4">・ C-1</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">※製造所の仕様</td><td rowspan="3">・ 適用する</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> </tr> <tr> </tr> <tr> </tr></tbody></table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ M4C	・ C-1				※製造所の仕様	・ 適用する																																																																									
工法	種別	施工箇所	断熱材					仕上塗料				高日射反射率防水	備考																																																																																
				種類	使用量																																																																																								
・ M4C	・ C-1				※製造所の仕様	・ 適用する																																																																																							

改修後

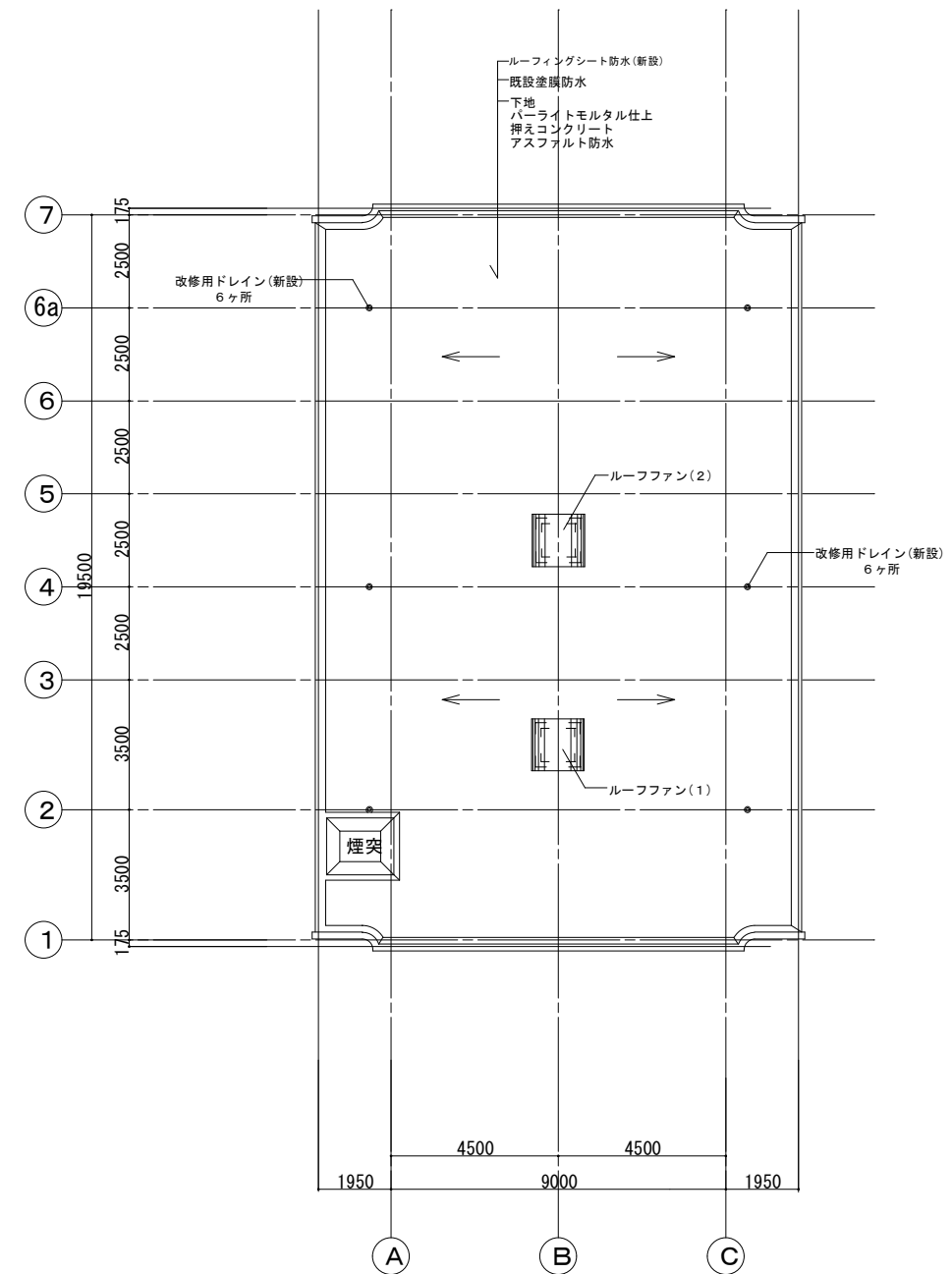


シート防水範囲（撤去）



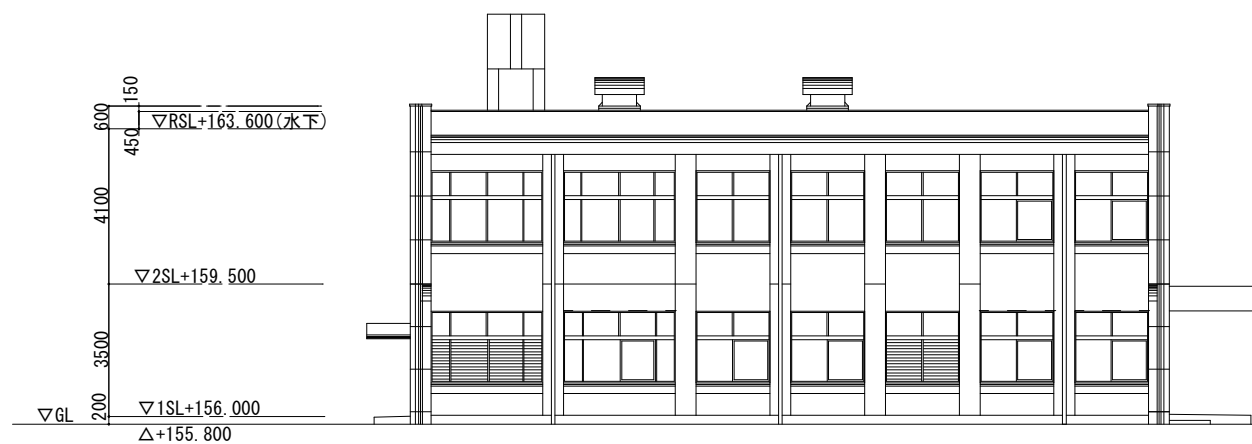
R階平面図 1/100

箇所	材料	工法	面積
床	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)	機械の固定法 (S-M2)	244.4 m ²
立上り	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)	接着工法 (S-F2)	55.6 m ²

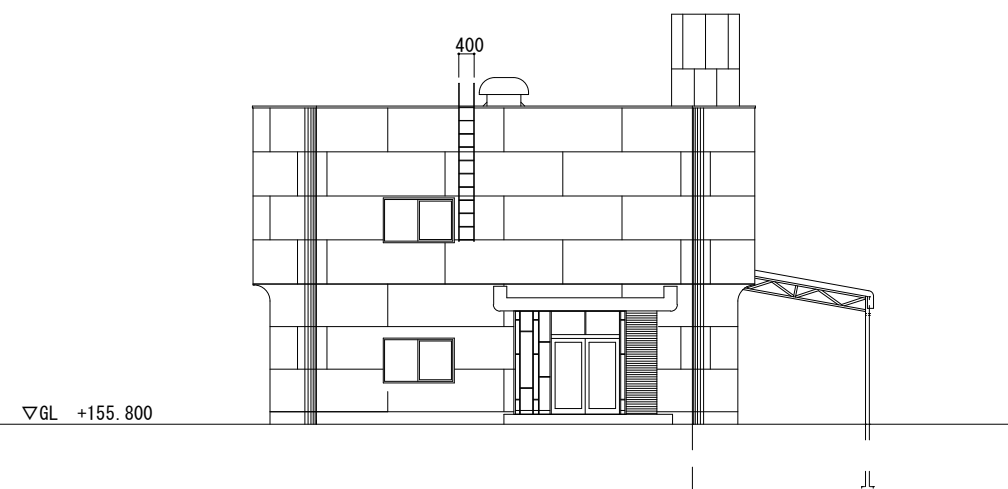


R階平面図 1/100

工 事 名	尾関山ポンプ場 屋上防水改修工事		
図 面 名 称	ポンプ棟 R階平面図		縮尺 1/100
検 収 年 月		図面種別コード	
設 計 管 理	三次市危機管理監	業務委託番号	
受 託 業 者		図 面 番 号	〇 〇 4



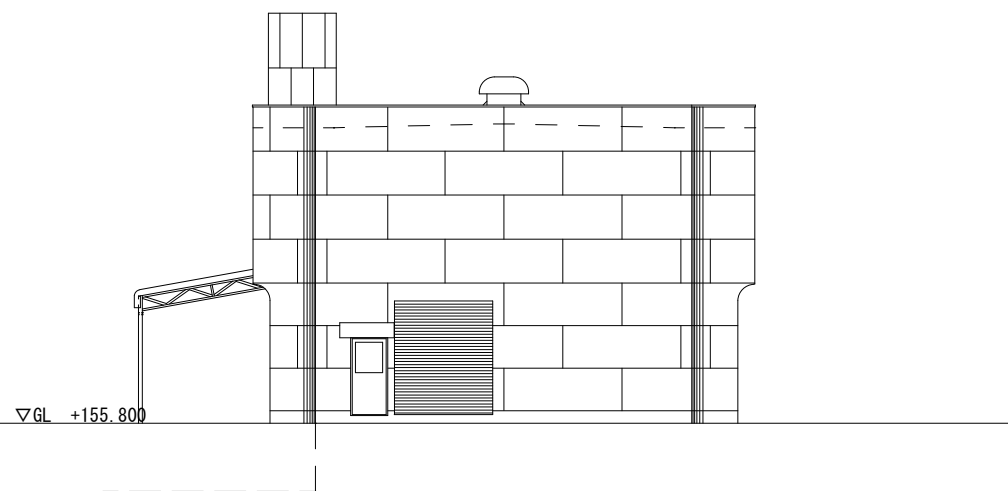
北立面図 1/100



西立面図 1/100



南立面図 1/100



東立面図 1/100

凡
例

工 事 名	尾関山ポンプ場 屋上防水改修工事		
図 面 名 称	ポンプ棟 立面図(参考図)	縮 尺	1/100
検 収 年 月		図面種別コード	
設 計 管 理	三次市危機管理監	業務委託番号	
受 託 業 者		図 面 番 号	005